

一般廃棄物処理施設整備事業について

No.9
2018.12

環境衛生課 ☎ 89-2426

<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/>

当組合では、平成30年7月25日の議会全員協議会において、新たなおみ処理施設の有力候補地を「八峰町峰浜沼田地区」「能代市竹生地区」に選定したことを報告しました。今回は、有力候補地の地元自治会や関係団体の皆様を対象として開催した説明会や先進ごみ処理施設の見学会等についてお知らせします。

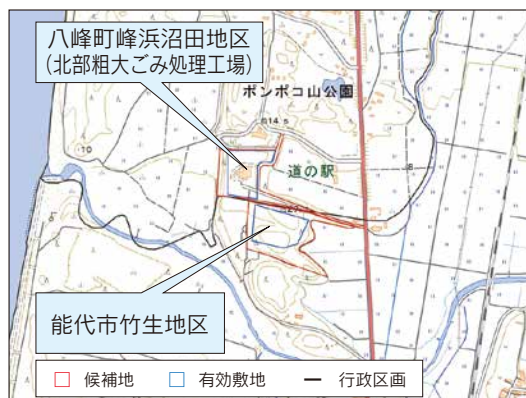
■ 新たなおみ処理施設整備に係る説明会の開催について

新たなおみ処理施設の有力候補地の選定に伴い、地元自治会や関係団体のご理解をいただくため、説明会を開催しました。

説明会では、ごみ処理施設の現状や用地選定の取り組み、施設のイメージ等の説明のほか、最近のごみ処理施設に求められる役割の移り変わりや焼却・余熱利用の技術等の紹介を行いました。

参加者からは「地域への環境負荷をしっかりと抑えてほしい。」「施設からごみのにおいが漏れてくることはないか。」などの意見や質問が寄せられました。（次項「説明会で寄せられた質問」参照）

今後は、地元自治会や関係団体の皆様、議会のご意見等を伺いながら、有力候補地の利点や課題を整理し、最終候補地の選定を進めてまいります。



有力候補地の位置図

説明会の開催状況



◆ 能代市竹生自治会

日時 8月23日(木)
18:30 ~ 20:00
場所 竹生自治会館
出席者 11名

◆ 峰浜産直会

日時 8月27日(月)
19:00 ~ 19:30
場所 おらほの館
出席者 33名



◆ 八峰町沼田自治会

日時 8月24日(金)
18:30 ~ 20:00
場所 沼田公民館
出席者 19名

◆ 能代市栗山自治会

日時 11月18日(日)
13:30 ~ 15:20
場所 栗山自治会館
出席者 16名

説明会で寄せられた質問

Q ごみ処理施設からにおいが漏れてくることはありませんか？

A 新たなごみ処理施設では、ごみの臭気対策として、プラットホーム（ごみを投入する場所）の出入口に自動扉とエアカーテンを設置します。さらに、ごみ投入口にも自動扉を設置することで、ごみピット（ごみを一時貯留する場所）からにおいが広がるのを防ぎます。また、ごみピット内の空気を焼却炉の燃焼用空気として吸込み、ごみと一緒に高温で焼却します。（悪臭のもととなる成分を分解します。）これによって施設内部の気圧が外部よりも低くなるため、においが漏れ出ることはありません。

Q 施設内から出る排水はどのように処理されますか？

A 施設から出る排水には、ごみピットに溜まった汚水やプラットホームの洗浄水等のプラント排水と、トイレや給湯室等から排出される生活排水があります。

プラント排水は、排ガスの冷却水等に再利用するため施設の外部に放流することはありません。また、生活排水は公共下水道に接続するか、又は合併処理浄化槽を設置し、公共水域へ放流することになります。

Q ごみ処理施設の排ガスによる周辺環境への影響はありませんか？

A 排ガスの処理については、ろ過式集じん機などの処理設備によって有害物質が除去され、法規制値を大幅に下回るようになっており、周辺環境への影響はありません。

当組合では、施設整備の前に「生活環境影響調査」を実施し、新たなごみ処理施設が周辺の生活環境にどのような影響を及ぼすか周辺地域の現況調査を行い、施設整備による影響の予測を行います。また、その結果を分析し、周辺地域の状況に応じた適切な生活環境保全対策等を検討し、地域住民の皆様にお知らせいたします。

Q 搬入台数は一日どれくらいですか？

A 新たなごみ処理施設には、現在の南部清掃工場と北部粗大ごみ処理工場の2施設に運び込まれていたごみが搬入されることとなります。

想定されるごみ収集車等の搬入台数については、平成29年度の実績からすると1日平均約84台が見込まれます。

Q ごみ処理施設の焼却灰等はどこへ運ばれますか？

A 南部清掃工場の焼却灰等や北部粗大ごみ処理工場の破碎残さは、能代市の一般廃棄物最終処分場で埋立処分されています。また、能代市の一般廃棄物最終処分場は平成36年度に満杯となり、埋立てが終了するため、37年度から当面は焼却灰等の処分を民間へ委託することとなります。

新たなごみ処理施設の焼却灰については、セメントの原料として資源化も検討したいと思えます。



今後、新たなごみ処理施設の整備事業を進めるに当たり、地域の皆様よりいただいたご意見を真摯に受け止め、様々な疑問についても丁寧にお答えしてまいりたいと思えます。

■ 先進ごみ処理施設の見学会について

平成30年9月11日・14日の2日間、竹生自治会、沼田自治会及び関係団体の皆様を対象に「クリーンプラザよこて」の見学会を開催しました。

クリーンプラザよこては平成28年4月より運転を開始し、最新の排ガス処理設備や発電設備、余熱利用によるロードヒーティング等を設置している先進のごみ処理施設です。

見学会では、におい・排ガスに対する苦情の有無やモニタリング調査の実施など周辺環境への影響について質問が出されました。参加者からは「今のごみ処理施設は、排ガス対策がしっかり行われており、環境に配慮した施設であることがわかった。」との感想をいただきました。

Q：施設の隣接地でりんご栽培が行われていますが、所有者からにおい・排ガスに対する苦情はありますか？

A：施設が稼働してからこれまで苦情はありません。



Q：発電によって作られた電気はどのように使われていますか？

A：施設内で使用するほか、余剰分は売電し、市内の小中学校に供給しています。

Q：施設外で環境のモニタリング調査を行っていますか？

A：施設建設の前後で大気や水質等のモニタリングを行っています。なお、分析結果の数値に変化はありません。



■ クリーンプラザよこて

- 事業主体 横手市
- 所在地 秋田県横手市柳田字中村126番地
- 処理方式 ストーカ式焼却方式+セメント資源化
- 処理能力 95 t/日 (47.5 t/日×2炉)

■ 能代山本広域市町村圏組合議会視察研修について

平成30年10月17日～18日、能代山本広域市町村圏組合議会では、建設用地選定の経緯や余熱利用の方法、事業方式等の先進事例を学ぶため「岩手中部クリーンセンター」の視察を行いました。

視察研修には9名の議員が参加し、担当職員より施設の特徴や事業方式等について詳しい説明を受けました。参加者からは、焼却灰のセメント資源化や売電による運営費の削減等について質問が出され、活発な質疑応答が交わされました。



視察研修の様子



■ 岩手中部クリーンセンター

- 事業主体 岩手中部広域行政組合
- 構成市町 花巻市、北上市、遠野市、西和賀町
- 所在地 岩手県北上市和賀町後藤3地割60番地
- 処理方式 ストーカ式焼却方式+セメント資源化
- 処理能力 182 t/日 (91 t/日×2炉)

用地選定の進捗状況

